

第6学年 外国語活動学習指導案

児童 6年2組 39名
指導者 小山 多佳子(HRT)
Peter Aviles Almazan (ALT)
場所 視聴覚室

1 単元名 「行ってみたい国を紹介しよう」(英語ノート2 Lesson6)

2 単元について

(1) 児童の実態

児童は6学年になり、4単元の学習を経験してきた。「友達の誕生日を知ろう」「道案内をしよう」の学習では、月や序数を表す英語を使って互いの誕生日を伝え合ったり、建物や方向を表す表現を使って道案内をしたりする学習をした。その学習を通して、自分の思いを伝えたり、たくさんの友達とかかわったりする楽しさを味わった。「アルファベットで遊ぼう」「いろいろな文字があることを知ろう」では、アルファベットの大文字と小文字の関係を知ったり、自分の身の回りにはアルファベットが多く使われていることを実感したりして、アルファベットに慣れ親しむことができた。

第1回実態調査(8月18日実施)では全児童が外国語活動の授業を「とても楽しい」「楽しい」と答えている。「先生や友達が話す英語を聞こうとしている」と答えた児童が、90%を超えており、外国語活動に意欲的に取り組んでいることが分かる。しかし「自分の考えや気持ちを進んで話そう、伝えようとしている」という項目では、20%の児童が「あまりしていない」と答えており、話すことに対しては聞くことよりも消極的になっていることが分かる。

これまでの活動の様子を見ていると、ゲームを通して異文化に触れたり、新しいことを知ったりすることを楽しみにしている児童がほとんどである。初めて聞いた言葉に興味を示したり、知っている言葉に反応したりと、楽しみながら学習している児童が多い。仲のよい友達だけでなく、たくさんの人とかかわったり、一緒に考えたりしながら、ゲームやチャンツなどに取り組んでいる。しかしALTの英語の発音が聞き取れなかったり、緊張して言葉につまったりしてしまう場面もあり、不安な気持ちを抱えている児童の姿も見られた。そこでジェスチャーを付けたり、繰り返し話したりして、相手に思いを伝えようとする姿勢を賞賛するようになってきた。

また修学旅行では、自分たちで作った二戸市のパンフレットを渡す相手として、外国人を選んだ児童も7名いた。「present」「Ninohe city」など、知っている単語で自分の思いを表現し、受け取ってもらえた充実感を味わうことができた。

(2) 単元のねらい

本単元のねらいは以下の通りである。

<主としてコミュニケーションに関すること>

- ・スピーチをしたり、友達のスピーチを聞いたりして、スピーチをする楽しさを体験すること。
- ・自分の思いがはっきり伝わるようにスピーチをしたり、積極的に友達のスピーチを聞いたりすること。
- ・行ってみたい国やその理由についてのまとまった話を聞いて、その概要を理解することの大切さを知ること。

<主として言語や文化に関すること>

- ・行ってみたい国やその理由を話す活動を通して、英語の音声やリズムに慣れ親しむこと。

- ・ 世界では様々な英語が話されていることに気付くこと。
- ・ ALTなどの異なる文化をもつ人々と行ってみたい国を話し合う体験をし、文化に対する理解を深めること。

本単元はいろいろな国で英語が話されていることを知ること、英語はコミュニケーションの道具であることを知り、伝えたいことを思い切り英語で話してみようという意欲を育てることがねらいである。行きたい国やその理由を考えることで、様々な国や地域についての興味・関心も高めていきたい。

第1時では、いろいろな国の人と話す英語を聞かせ、たくさんの国で英語が使われていること、話す英語に違いがあることに気付かせる。そこから、英語は人とコミュニケーションを図るための一つの手段であり、伝えようとする気持ちが大切であることを感じ取らせる。さらに、世界地図や写真、国旗絵カードを使って世界の国々を紹介し、外国の様子を想像させ、世界のいろいろな国に行ってみたいという気持ちをもたせたい。

第2時では、国旗とその国の特徴を線で結んだり、ゲームやチャンツをしたりしながら、行ってみたい国やその理由についての英語での言い方に慣れさせる。

第3時では、グループで行ってみたい国を一つ選び、発表する活動を取り入れる。グループで一緒に考えたり、相談したりしながら、行ってみたい国やその理由についての英語での言い方に慣れさせる。

第4時では「自分のコミュニケーションツールを活かした体験的活動」として、『行ってみたい国を紹介しよう』の活動を行う。第3時の活動を活かして、一人一人が行ってみたい国を紹介し合う活動である。この活動で、英語で相手の意思を尋ね、行きたい国や行きたい理由を伝える言い方に慣れ親しませるとともに、進んで英語でコミュニケーションをとる楽しさを味わわせたい。

(3) 指導に当たって

本単元では、世界中で様々な英語が話されていることを知り、世界の国々への興味・関心を高める活動、英語を使って行ってみたい国と理由を発表する活動、表現を工夫して行ってみたい国と理由を伝え合う活動が中心となる。

世界中で様々な英語が話されていることを知る活動では、複数の外国人がそれぞれの国の英語で話す映像を見せ、国や文化の違いがあっても、どれも英語であることを実感させたい。どの人が話す英語も価値のある英語であることをALTが伝え、子どもたちが自分に自信をもって活動していけるようにしていきたい。いろいろな国を紹介する場面では、身近な国や地域を最初に取り上げ、スムーズに学習に入れるようにしていきたい。また英語ノートに出てくる国だけでなく、これまで他教科で学習した国や、最近のニュースなどで話題となっている国も取り上げて世界の国々への興味・関心を高め、行ってみたい国を想像するための土台を作りたい。

行ってみたい国と理由を発表する活動では、「グループのみんなで行ってみたい国」を話し合って一つ決め、発表する。グループでの話し合いの中で、いろいろな国について情報交換をしたり、英語での言い方を確かめ合ったりしながら活動を進める。また言い方に慣れるために、教師と教師のやりとり、教師と児童のやりとり、児童同士のやりとりと、スモールステップを踏みながら経験を積み重ねさせ、自信をもって話せるようにしていきたい。

表現を工夫して行ってみたい国と理由を伝え合う活動では、「自分のコミュニケーションツールを活かした体験的活動」として行ってみたい国とその理由を英語で紹介し合う活動を行う。学級のみんなの「行ってみたい国ベスト3」を当てるという目的をもつことでお互いの思いを伝え合う意欲を高めたい。自分の思いや考えを伝えるためにジェスチャーを使ったり、繰り返し話したりと表現の工夫を考えながらやりとりをさせたい。また友達が何を伝えようとしているかを受け止めることができるようにしたい。自分とは違う考え方や表現の仕方があることも実感させたい。

3 単元の目標

- 世界でいろいろな英語が話されていることに気付くとともに、世界各国の文化や様子を想像する。＜思考力とのつながり＞
- 自分の思いが伝わるように表現を工夫したり、友達の伝えたい内容をつかんだりする。＜思考力・判断力・表現力とのつながり＞
- 行ってみたい国をその理由とともに発表する。＜判断力・表現力とのつながり＞

4 指導計画

(1) 単元の指導計画(指導時数 4 時間)

	<第 1 時>(本時)	<第 2 時>	<第 3 時>	<第 4 時>
目 標	様々な英語があることを知り、外国の文化に興味をもつ。	行ってみたい国やその理由の言い方を知る。	グループみんなで行ってみたい国を考え、理由とともに発表したり、他のグループの発表を聞いたりする。	自分が行ってみたい国とその理由をたくさん友達と伝え合う。
活 動	[Let's chant] * 英語ノート P 37 リズムに合わせて ♪I want to go to Italy. ♪を言う。 ※ 慣れてきたら、国を替えてやってみる。			[Let's Play] 推理ゲームをする。
	[Let's Play] 様々な国旗絵カードを見て、どこの国の国旗か考える。	[Let's Listen1] * 英語ノート P 38 国の文化やよさが書かれたカードを順に並べる。	[Let's Listen] * 英語ノート P 40 CD を聞いて分かったことを書く。	◎【Activity】 『行ってみたい国を紹介しよう』 ・ 前時に作った紹介カードを確認する。 ・ できるだけ多くの友達と行きたい国を紹介し合う。 ・ 友達から聞いた行きたい国と理由を表に記録する。 ・ クラスみんなの「行ってみたい国ベスト3」を予想し、結果と比べる。
	[Let's Listen] 映像に登場する数人の外国人が話す英語に違いがあることに気付く。 いろいろな国で英語が話されていることに気付く。	[Let's Play] * 英語ノート P 38 「ビンゴゲーム」をする。	[Activity] 提示された国旗の中から、グループみんなで行ってみたい国を1つ選び、理由も加えて発表する。	
		[Let's Listen2] * 英語ノート P 39 CD を聞き、子どもたちが行きたい国と理由を線で結ぶ。		
[Let's Play] カード合わせゲームをする。 ※ 自分が引いた国旗カードを見て、その国の特徴を推理し、絵カードを引き当てる。	[Let's Play] 推理ゲームをする。 ※ グループ全員で1番の人に Where do you want to go? と尋ねる。1番の人は国旗カードをこっそり1枚選び I want to go to ~.と答える。全員で、1番の人が選んだカードと答えが合っているか推理して、Yes/No を当てる。	[Activity] 自分が行ってみたい国を紹介する活動を行うことを知り、これまでの学習や生活経験を基にして、「自分が行ってみたい国カード」を作成する。		

◎…【自分のコミュニケーションツールを活かした体験的活動】

[Let's Listen]…CD や ALT が話す語彙や表現を聞いて、新しい表現を知ったり、質問の答えを考えたりして外国語に慣れる。

[Let's chant]…リズムに合わせて CD や ALT の言う外国語(英語)を真似し、外国語独特のリズムを感じ取ったり、表現に慣れたりする。

[Let's Play]…◇ 単元で扱われる表現や語彙を、ゲームなどを通して、繰り返し聞いたり、話したりして慣れる。

◇ 学んだ英語を使って簡単なコミュニケーション活動をする。

◇ 異文化に触れ、日本文化との共通点や相違点などに気付く。

[Activity]…慣れ親しんだ語彙や表現、ゲームの経験を活かして、

① 日常生活により近い場面、たくさんの相手とのやりとりを必要とする場面、1対1でより多くのやりとりをする場面でのコミュニケーション活動を体験する。

② 日本の文化と世界の文化について新たな発見をしたり、自分の考えや思いを表現したりする。

*英語ノート…英語ノートを活用しての活動（*のない活動は本校独自の活動）

(2) 慣れ親しませたい表現・語彙

<慣れ親しませたい表現> Where do you want to go? I want to go to ～.

<慣れ親しませたい語彙> Italy,Japan,China,Korea,Brazil など世界の国名

5 本時の指導

(1) 目標

○ 様々な英語があることを知り、世界の国々の文化に興味をもつ。<思考力とのつながり>

(2) 「自分のコミュニケーションツールを生かした体験的活動」につながるコミュニケーションツール

1 姿勢

ア 外国の文化を受け入れようとする姿勢

イ 自分の思いや考えを伝えようとする姿勢

ウ 相手の思いを感じ取ろうとする姿勢

エ 相手とのやりとりをあきらめない姿勢

2 方略（英語の語彙や文法に関する知識が不足している場合に、相手とやりとりを続けていくためのもの）

ア 表情 イ ジェスチャー ウ ものまね エ 言い換え オ 近い言葉を自分で作る

3 表現・語彙

ア 相手との関係を円滑にするもの

・ あいさつ Hello. See you.

ウ 事実を伝えるもの

・ 世界の国名 (Italy,Japan,China,Korea,Brazil など)

エ 考えや意図を伝えるもの

・ 行ってみたい国を伝え合うこと Where do you want to go?
I want to go to ～.

・ 行ってみたい理由を伝え合うこと I want to eat ～. I want to play ～.

(3) 展開

過程 (分)	児童の活動	教師の支援 (◎評価、◇教材・準備物)	
		HRT	ALT
導入 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 全員で ALT にあいさつをする。 Hello. HRT、ALT とあいさつをする。 I'm fine/ happy/ hungry/ sleepy. 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒にあいさつをする。 児童一人一人とあいさつをする。 How are you? 	<ul style="list-style-type: none"> 全体にあいさつをする。 Hello, everyone. 児童一人一人とあいさつをする。 How are you?
展開 (35)	<p>1 [Let's chant]</p> <ul style="list-style-type: none"> リズムに合わせて ♪ I want to go to Italy. ♪ を言う。 Look. Look. Look at this. Green, white and red. I want to go to Italy. In Italy, I want to eat pizza. I want to play soccer. Yes. Yes. Yes, let's go ! 	<ul style="list-style-type: none"> 国旗絵カードを見せながら、ALT に行きたい国や理由を尋ねる。 児童と一緒にチャンツを言う。 <p>◇ 電子黒板、プロジェクター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ジェスチャーを付けながら、チャンツを紹介する。 児童と一緒にチャンツを言う。
	<p>2 [Let's Play]</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の国旗の特徴を知り、どの国のものかを考える。 <p>3 [Let's Listen]</p> <ul style="list-style-type: none"> (映像 1) 3 人の外国人の自己紹介を見る。 聞き取れたことを発表する。 (映像 2) 外国人が好きな食べ物を英語で話すことを知る。 食べ物を見て、日本ではどう表現するか考える。 代表児童が Peter 先生に伝える。 映像 2 を見る。 国によってものの名前が違うことがあることに気付く。 話す英語に違いがあっても伝わることに気付く。 いろいろな国で英語が話されていることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 国旗絵カードを見せながら、どこの国の国旗か尋ねる。 先に写真を見せ、出身地を予想させる。 映像を見て分かったことを尋ねる。 3 人の外国人が同じ食べ物を好きでそれをこれから紹介することを告げる。 Peter 先生には内容は秘密とし、児童にだけ知らせる。 日本ではどう表現するか代表児童に伝えさせる。 映像 2 を見て気付いたことを尋ねる。 Peter 先生に答えを尋ねる。 なぜ分かったのか Peter 先生に尋ねる。 <p>◎ いろいろな国で英語が話されていることや国や人によって話す英語に違いがあることに気付く。</p> <p><行動観察、感想カード></p> <p>◇ 複数の外国人が話している映像 ◇ 電子黒板、プロジェクター、世界地図</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国旗絵カードを示しながら、国名を知らせる。 It's ~. 名前、出身地、好きなことを順に英語で自己紹介することを知らせる。 目と耳をふさぎ、準備ができるのを待つ。 代表児童の言い回しを聞き、理解したという反応を示す。 3 つの選択肢の中から正解を当てる。 正しい英語というのではなく、どれもみな価値のある英語であることを伝える。

	<p>4 [Let's Play]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「カード合わせゲーム」をすることを知る。 国旗と国名が書かれたカード(ブラックカード)を一枚ひき、その国の特徴を表したものを考えて、絵カード(ホワイトカード)を引き当てる。当たったら自分のものになる。 デモンストレーションを見てゲームのやり方を知る。 (ALTの部分はグループ全員で尋ねる。) 教師や児童と繰り返し言い方の練習をして慣れる。 3～4人のグループの中でゲームに挑戦する順番を決める。 一人ずつカードを引き、全員で尋ねながらゲームをする。 いろいろな国やその国の特徴を知る。 <p>5 [Let's chant]</p> <ul style="list-style-type: none"> リズムに合わせて♪I want to go to Italy.♪を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> やり方をデモンストレーションする。 <p>A: Where do you want to go? H: ブラックカードを引く To Italy. H: 絵カードから当てはまるものを探して一枚ひく A: (答えを確認して) Yes. Ok! / No.</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師と児童、児童と児童で繰り返しクイズの出し方や言い方に慣れるようにする。 英語を使ってやりとりしていることを賞賛する。 表情やジェスチャーを使って表現している児童を賞賛する。 言い方が分からず困っているグループには言い方を教える。 <p>◇ 国旗カード、絵カード</p> <p>◎ 世界の国や文化に興味をもつ。 <行動観察、感想カード></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【目指す子どもの姿】</p> <p>いろいろな国で英語が話されていることや人によって話す英語に違いがあることに気づき、世界の国々に興味をもつ。 <思考力とのつながり> s</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒にチャンツを言う。 <p>◇ 電子黒板、プロジェクター</p>	
<p>終末 (7)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。 映像を見た感想や「カード合わせゲーム」をして考えたことを書き、発表する。 あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 主に英語を使おうとする態度面について話し、次時への意欲につなげる。 児童と一緒にALTにあいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 主に英語を話したり聞いたりすることについて話す。 児童にあいさつをする。